

様式第3号

藤沢小学校学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第3回学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年11月21日（金）
午前13時00分から午前14時30分まで
- 3 開催場所 藤沢小学校コンピューター室
- 4 出席者
委員 小山博恵委員、及川忠委員、畠山憲一委員、畠山文子委員、千田修委員、
佐々木ゆかり委員、菅原三千司委員、古川栄子委員、藤沢小学校校長、
藤沢小学校副校長、千葉千絵委員（地域CO）

5 議題

- (1) 2学期の活動報告
- (2) 3学期の活動について
- (3) その他

※議事終了後に授業参観にて児童の様子を観察

- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 議事内容

(1) 2学期の活動報告について

副校長が学校ボランティアの状況について、登録人数（43名）、活動内容や子どもたちの状況について報告した。地域ボランティアを学習発表会に招待したり、HPに活動の様子を掲載したりと学校からの発信活動にも力を入れたことの説明もあった。質疑は特になかった。

(2) 3学期の活動について

3学期の活動として、熊対策において地域でできることはないかと委員からの提案を受け、学校の取組状況の説明を副校長が行い、地域として熊対策について何ができるのかを議論した。

委員 民生委員の会議でも熊対応で、さまざま意見がでて、申し入れを行っていきたいとなった。それぞれの立場でどういう対応ができるか考えたい。

委員 一関防災メールや警察のピカポメールなどを登録していれば、どこで熊がでたか瞬時に連絡が来る。

- 委員 P T Aとしては熊スプレーをP T A予算で購入するように学校側にお願いして配備してもらった。熊鈴などについてもP T Aで購入できないか検討課題だと考えている。
- 委員 熊スプレーなどは消費センターなどでも、効果に疑問があるものなどを注意喚起している。そろえるならきちんとしたものを配備した方がよい。
- 委員 他の学校ではS Bに空きがあるので、特別な措置としてルート沿いの子を乗せていると聞いている。
- 委員 S Bの柔軟な使い方も検討が必要か。
- 委員 地域振興課がS Bの運航を担っているがこの件についてどうか。
- 委員 支所としては市の規則に則ってS Bを運営している。別の地域がどうしてもそのような運用ができているのか確認してみないとわからない。
- 委員 学校統合したときの申し合わせもある。
- 委員 S Bを降りた後、誰かが迎えに来れるかどうかのニーズの調査が必要。そもそも見守りが必要かを検討する必要がある。要望をするにしても現状の把握をする必要がある。支所の方も柔軟に運用している地域にどのような経緯でどうやって柔軟な運行ができたのか確認していただきたい。
- 委員 見守りをする際に、見守りをする側も被害に気をつけるようにしなければならない。いずれにせよ少なくなってきた子どもたちをどうやって地域で見守るかをより具体化する必要がある。

(3) その他

- 校長 前回の会議でも話題となったお掃除ボランティアについて協力いただけないか。
- 委員 昔は学校で保護者と子どもたちが一緒に掃除をする活動があった。
- 委員 現在の保護者は共働きでなかなか難しい。P T Aの環境整備作業のときに保護者と児童が一緒に清掃活動に取り組んでいる。この活動をさらに充実させたらよいのではないか。

9 その他

委員から、藤沢文化センターの音響、照明、舞台の操作をできるJキッズ養成講座2026に関して紹介があった。コロナで中止していた取り組みを今年度から復活させるので、協力を依頼したい旨の説明があった。質疑は特になかった。